観光振興 ■観光連携の支援による観光入込客数、消費額の増加



- ・H17とH27の島根東部~南北方向の広域旅客流動は増加しており、備後地域では1.6倍以上増加。
- ・松江市の観光入込客数が増加傾向にあり、尾道松江線が山陰地方の観光産業の活性化を支援。



尾道松江線による旅客流動の変化





松江市の観光入込客数・観光消費額の推移

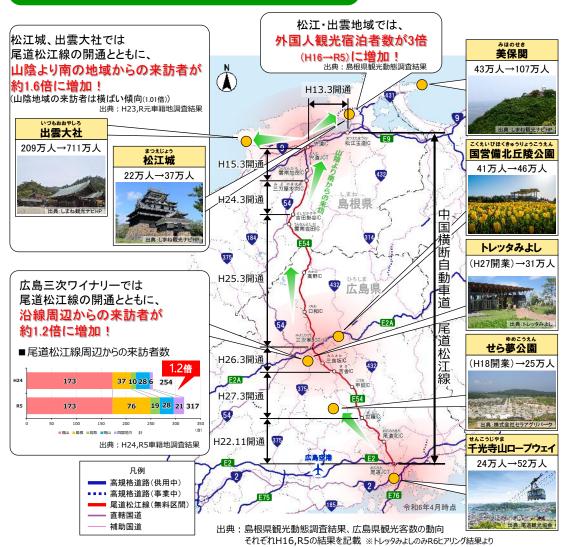


観光振興 ■山陰・山陽地域の交流促進による観光活性化

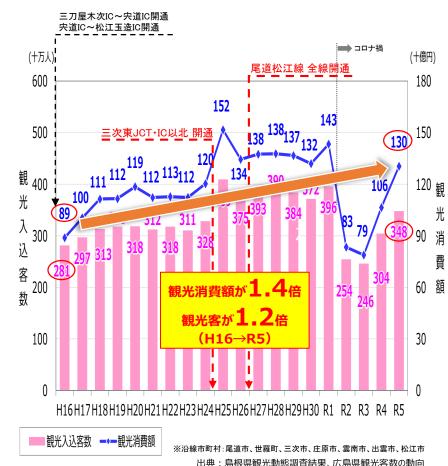


- ・尾道松江線の開通により、山陰・山陽及び沿線地域の交流が活性化。
- ・沿線市町の観光入込客数が増加するとともに、観光消費額も増加し、沿線地域の観光振興に貢献。
- ・また、空港を利用する訪日客に対する周遊促進策の実施によって、より観光が活性化することが期待される。

尾道松江線沿線の観光施設における観光客数の推移



尾道松江線沿線市町村の観光入込客数・観光消費額の推移



観光振興 周遊観光の促進



- まつぇ さかいみなと みょし ・松江市・境港市・三次市の観光施設を周遊するイベントやしまなみ海道と連携した観光連携施策等が実施され、尾道松江線が広域周遊観光を支援。
- ・沿線には近年、周遊観光の拠点となる大手宿泊特化型ホテルやグランピング施設等が開業しており、一層の周遊観光活性化が期待される。



連携施策の取組内容

「もののけ怪道にあそぶ。」 (3館周遊パスポート)





出典:松江観光協会HP

「しゃまなみ※」による観光振興



出典: Uまなみ・中国やまなみ沿線観光協会連絡協議会HP

しゃまなみモデルコース(尾道〜三次)





●18日/各地=千光寺公園(60分)=(50分)=品食(世歷町内)(60分)=(20分)=世羅高原農場(60分)=(50分)=美波 深川の手本桜(60分)=(30分)=三次市内(宿泊)

●2日目/三次市内-〈35分〉-上野池の桜 (60分)-〈10分〉-基食 (庄原市内) (60分)-〈10分〉-食彩館しょうばらゆめさ(6 (30分) - (10分) - 国営備北丘防公開(花畑の見学)(90分) - 各地







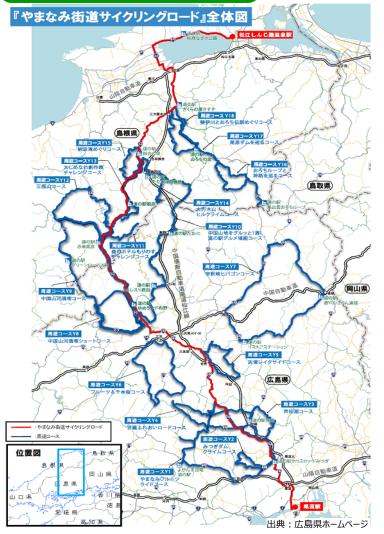
出典:パンフレット「しゃまなみモデルコース(2021年版)[おもに旅行会社様向け]」

観光振興 ■尾道松江線の現道を活用した観光



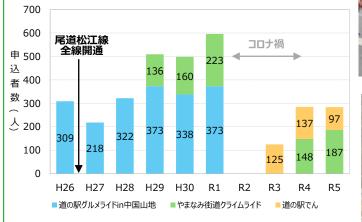
- ・尾道松江線の開通により、交通量が減少した国道54号・国道184号等をサイクリングロードとして整備し、地域活性化を目的としたサイクルイベントが 開催されている。
- ・尾道松江線の世羅ICを降りてすぐに立地している道の駅世羅では、電動アシスト付き自転車(E-BIKE)のレンタル事業を2024年3月から開始し、世羅町内周遊の手段として賑わいづくりを目指している。

やまなみ街道サイクリングロード



国道54号を活用したサイクリングイベント

<国道54号サイクリングイベント参加者数の推移>





第3回クライムライド(R元.8.18)



第1回道の駅でん(R4.3.13)



国道54号をサイクリングロードとして整備

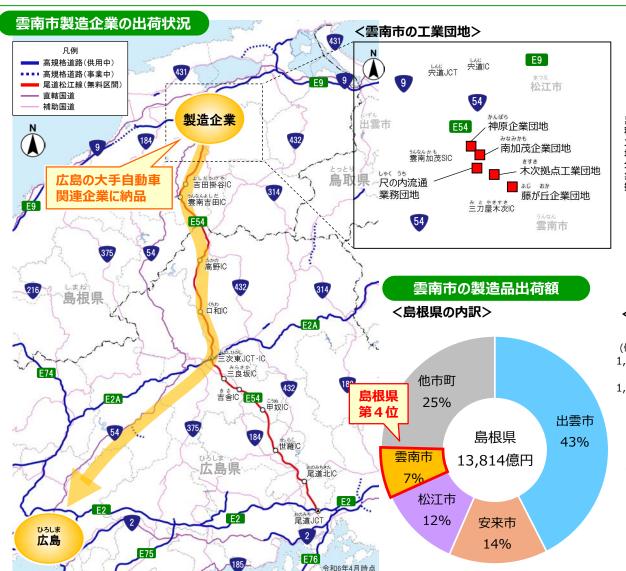


E-BIKEステーション道の駅「世羅」でレンタサイクル

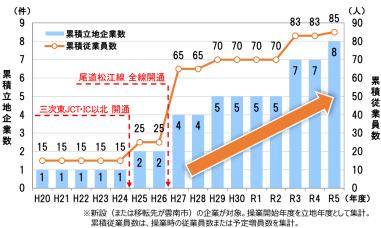
企業活動の支援

|企業立地の促進

- ・工業団地等の工業用地が豊富にある雲南市は、尾道松江線の開通に伴って、沿線に立地する企業が1社(H24)から8社(R5)に、従業員数も15人 (H24) から85人(R5) に増加。
- ・尾道松江線は、雲南市で製造される自動車関連部品の出荷に利用されており、中国地方を代表する自動車製造業のサプライチェーンを支えている。



雲南市の企業立地状況の推移



出典:島根県HP(新規立地計画認定)

<雲南市の製造品出荷額の推移>



H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4(年次)

出典:2023年経済構造実態調査(R4実績)

企業活動の支援 ■高速道路のネットワーク化により物流が効率化

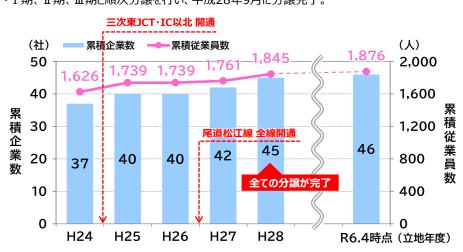


- ・三次市は尾道松江線と中国自動車道が交差する結節点であり、交通の利便性が評価されている。
- ・その利便性を活かした三次工業団地は、企業進出が進展して完売しており、工業団地内には物流系企業が集積し、山陰・山陽間だけでなく、京阪神や 九州方面への広域物流も支えている。



三次工業団地

・Ⅰ期、Ⅱ期、Ⅲ期と順次分譲を行い、平成28年9月に分譲完了。



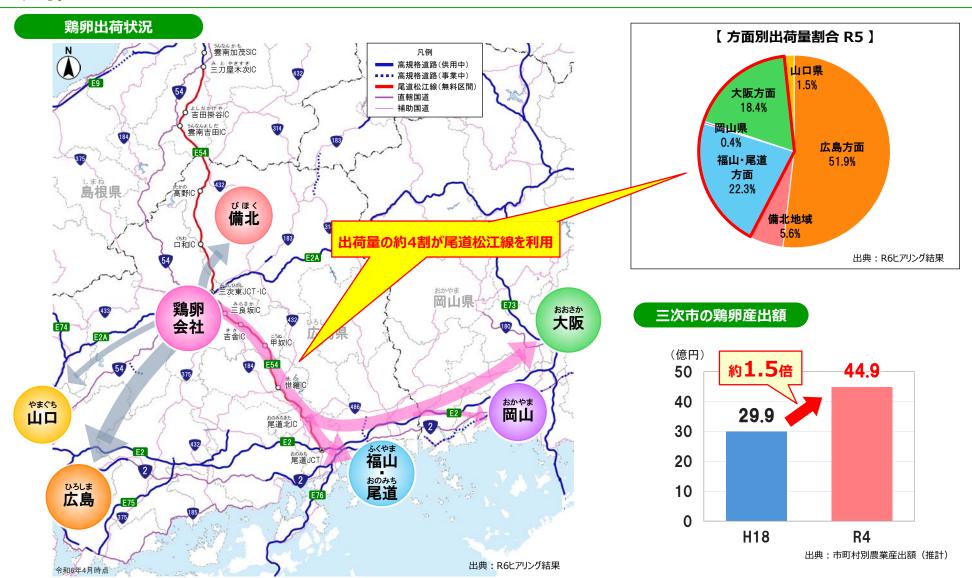
※昭和56年よりI期、平成2年よりI期、平成21年よりⅢ期分譲が開始し、平成28年に全て分譲が完了。 出典:三次市より資料提供



企業活動の支援 ■農畜産物の流通促進(鶏卵関連物流)



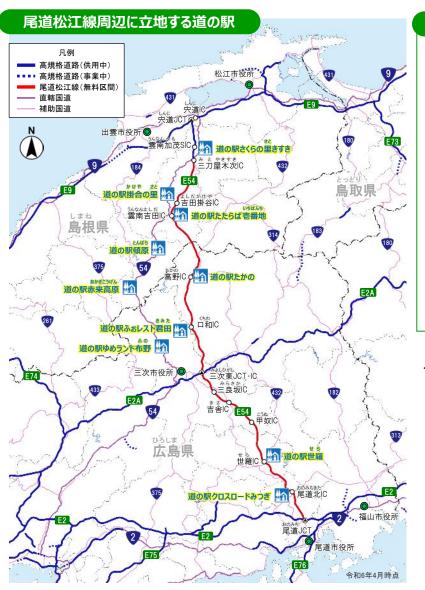
- ・三次市は畜産業が盛んな地域で、R4は尾道松江線整備前(H18)の約1.5倍の鶏卵産出額となっている。
- ・尾道松江線の開通により、配送時間の短縮や積雪時等の安定輸送が確保されることで出荷の効率化が図られ、取引先が増えるなど、地域産業を支え ている。



生活利便性の向上 ■沿線の道の駅を中心とした賑わい創出



・尾道松江線沿線に立地している道の駅は、沿線地域外からの道路利用者に対して地域を案内する玄関口としての顔だけでなく、地元生産物の販売拠 点や地域交流拠点として、沿線地域の賑わい創出に貢献している。



道の駅たかの ・来訪者数は、R5に422千人と全線開通したH27以降 最も多く、沿線地域の賑わいに貢献している。 40万人以上 (千人) 600 500 386 373 400 300 200 100 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5 (年度) ▲来訪者数の推移 ※レジ通過者数 (R6.7ヒアリング結果より)



<道の駅たかの 10周年感謝祭の様子>



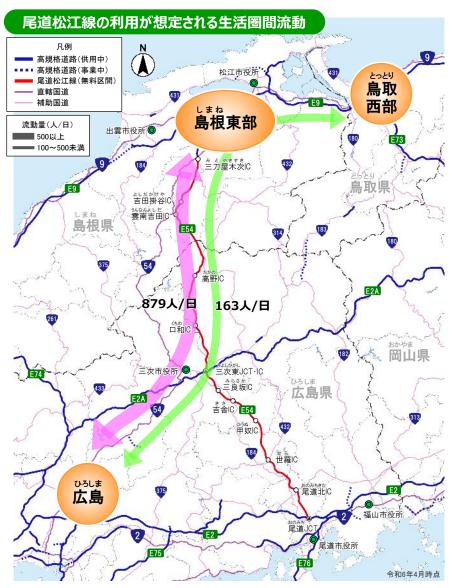


▲館内

生活利便性の向上 ■都市間移動(高速バス)の利便性向上



・尾道松江線の開通により、山陰~広島間の高速バスの運行便数が約1.3倍に増加。高速バスのサービス水準が向上したことで、山陰~広島間の利用 者数も約1.7倍に増加。都市間移動の利便性向上を支援している。



山陰~広島間の高速バス

<運行便数の推移>



出典: JR時刻表、高速バス時刻表、日ノ丸自動車(株)HP、一畑バス(株)HP

<山陰~広島間の旅客流動>





松汀道を走行する高速バス

出典:全国幹線旅客純流動調查(2010年、2015年調查)

※平日·休日平均

※幹線バス:都市間バス、高速バス

※松江道の利用が想定される生活圏間流動

広域的な地域連携の促進 ■山陰・山陽、四国間の交流による地域活性化



- ・松江・尾道・今治・松山の4商工会議所が連携し、観光および企業連携を目的とした事業や広報活動、商談会を各地で定期的に開催。
- ・尾道松江線が道の駅たかのの貨客混載事業や尾道のグルメサミットなど地域やお店の連携を支援し、地域の賑わい創出、観光誘致に繋がっている。



商工会議所の取り組み

•松江、尾道、今治 松山の4つの商工会 議所が連携して商談 会・物産展を開催



道の駅たかのの取り組み

・高速バスを利用した

貨客混載事業を実施

広島駅新幹線口、

そごう広島店のイベント等



グルメサミットin尾道

